

採択拠点の拠点形成概要及び採択理由

【分野名：社会科学】

大 学 名	一橋大学	整理番号	I - 1
拠点のプログラム名称	知識・企業・イノベーションのダイナミクス		
中核となる専攻等名	商学研究科経営・会計専攻		
事業推進担当者	(リダー)伊丹 敬之 外24名		
<p>(拠点形成の概要)</p> <p>イノベーションは社会を発展させる。その源泉は知識である。企業システムは知識を創造するための、知識をイノベーションにつないで社会に具現化する際の、中心的役割を果たす。ここでは知識・企業・イノベーションの三者の間のダイナミクスが重要で、それを本拠点の中心テーマとする。本拠点に参加する三つの学内組織にそれぞれ領域別研究ユニット（日本企業研究センター、知識経営研究プラットフォーム、イノベーション研究プラットフォーム）を設けると同時に、組織横断的にダイナミクス研究の3つの視点別（制度・構造、経営者・人材、場・プロセス）研究プログラムを設けて、領域別ユニット・視点別プログラムというマトリックス体制を作る。また、イノベーションや経営のデータベースやケーススペースの作成、院生も参加する国際共同研究プロジェクトの実施、大学院進学奨励のための財政援助、など研究インフラ整備と若手研究者の育成に努める。その結果、ビジネス分野の研究での世界への発信拠点、実務界との交流の場として、「日本の顔」とでも言うべき研究拠点を目指す。</p>			
<p>(採択理由)</p> <p>新産業創出の原動力であるイノベーションの源泉を知識とし、知識をイノベーションにつないで社会に具現化するシステムとして企業を捉え、その3要素間のダイナミクスに着目した本研究は世界的にみてユニークなものである。しかも、事業推進担当者の中の多くは既にそれぞれの分野での実績をあげており、組織的に相互の融合を計ろうとする実績も十分あり、本研究教育拠点は世界水準の拠点として発展することが期待できる。加えて、学長の強力なリーダーシップにより大学全体としての支援体制も完備しており、有力な研究教育拠点となることを期待する。</p>			